

憲さんへ

山本英美恵

福井県・四八・保母

お元気ですか？

今年の六月一五日、何の日だったか覚えていますか？ あなたに初めて出逢った日から二〇年目、私にとっては忘れられない記念日でした。あなたとの結婚を諦めてから一九年です。あの時は本当に死んでしまいたいくらい悲しかった。普通は失恋した時は、相手の事を、必死に忘れようと努力するものだけど、私はあなたの事一生絶対に忘れないでおこうと思ったの。そして生きていけば、又、会う事もあるかもしれないと思ってたら、一〇年目に偶然喫茶店で会いましたね。あの日、仲良しの友達と喫茶店に入った私は、しゃべっているうちに座席のうしろに置いていたバッグを落とし、あわてて拾おうとした時、何となく視線を感じてその方を見たらあなただったので、ハッと思ったけど、何しろ一〇年ぶりだからなかなか信じられなくて、その後は友達との話もうワの空でしたよ。そして二日後、あなたから電話がかかりデートしました

ね。

たった一時間程のデートだったけど、あんなに嬉しかった事はなかった。いろんな病気をしながらも一生懸命生きてる私に、神様がごほうびを下さったんだと思った。そして、この時から年に一回だけあなたのお誕生日に「オメデトウ！」って電話する事に決めたのです。あなたの声が聞きたくて……。その度に、「まだ、ひとり（独身）なんか？」と心配そうに聞くあなた……。あれから又一〇年です。そしてやっぱり私、まだひとりです。

別れた人を二〇年も想い続けるなんてバカだって友達は呆れています。自分でもそう思います。でもやっぱり今もあなたの事好きなんです。年に一回声を聞くだけで元気がでます。奥様もお子さんもいるあなたを、いつまでも想い続けている私は、あなたにとっては迷惑でしょうか。

\*親の反対に負けて結婚できなかった彼へ、二〇年目のラブレターです。